

令和6年(2024年)5月16日

宮中区にお住まいの皆様

長野県安曇野建設事務所長
安曇野市都市建設部長

松本系魚川連絡道路 安曇野市新設区間(安曇野道路)説明会の結果概要について(お知らせ)

長野県および安曇野市の建設行政につきまして、日頃よりご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

松本系魚川連絡道路 安曇野市の新設区間(安曇野道路)等について、下記のとおり、説明会を開催しましたので、結果概要をお知らせします。当日ご出席いただいた皆様におかれましては、ご多用のところ誠にありがとうございました。

安曇野道路については、今後、事業範囲・用地影響幅の目安(杭)を現地へ設置するとともに、各種調査・設計等を進めた上で、次回は令和6年夏頃に説明会を開催したいと考えています。
(状況により令和6年夏以降の可能性もありますが、決まり次第、地区回覧等でお知らせする予定です)
ご不明な点等ありましたら、下記担当までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

記

1 日時・場所等 ※対象:関係区民の皆様(回覧周知)及び測量等関係地権者の皆様(郵送通知)

対象	期日	時刻	場所	出席者
全体	R6.4.14	(日) 14:00 ~	安曇野市役所	21名
豊科 光区	R6.4.16	(火) 19:00 ~	光公民館	15名
明科 光区	R6.4.17	(水) 19:00 ~	北村集会所	12名
穂高 狐島区	R6.4.18	(木) 19:00 ~	狐島会館	14名
明科 宮中区	R6.4.22	(月) 19:00 ~	中耕地公民館	17名
明科 町区	R6.4.23	(火) 19:00 ~	町公民館	11名

延べ 90名

2 説明内容

○安曇野道路 | 道路構造、道路計画に必要な事業範囲・用地影響幅 など

○関連市道整備 | アクセス道路「ご意見窓口」結果概要と整備方針
関連市道整備の検討状況と今後の予定 など

※添付した「主なご意見」や「当日配布資料」等をご覧ください。

また、県ウェブサイトにも説明会資料等を掲載しています。

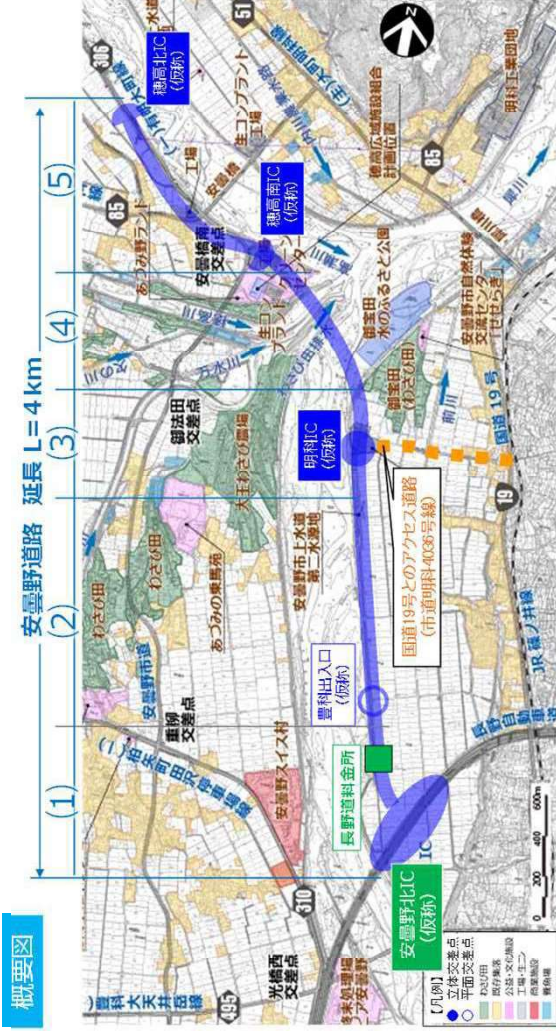
<https://www.pref.nagano.lg.jp/azumiken/matsuito-doro.html>▲左記 URL へ
アクセスできます長野県 安曇野建設事務所 整備課
(課長) 伴野 (課長補佐) 山口 (担当) 山浦
電話 0263-72-8308
FAX 0263-72-8882
メール azumiken-matsuito@pref.nagano.lg.jp安曇野市役所 都市建設部 建設整備課
(課長) 佐々木 (係長) 小林 (担当) 平林
電話 0263-71-2330
FAX 0263-72-3569
メール kensetsu@city.azumino.nagano.jp

裏面以降もご確認願います

地域高規格道路 松本系魚川連絡道路「安曇野道路」について

R6.5 長野県 安曇野建設事務所

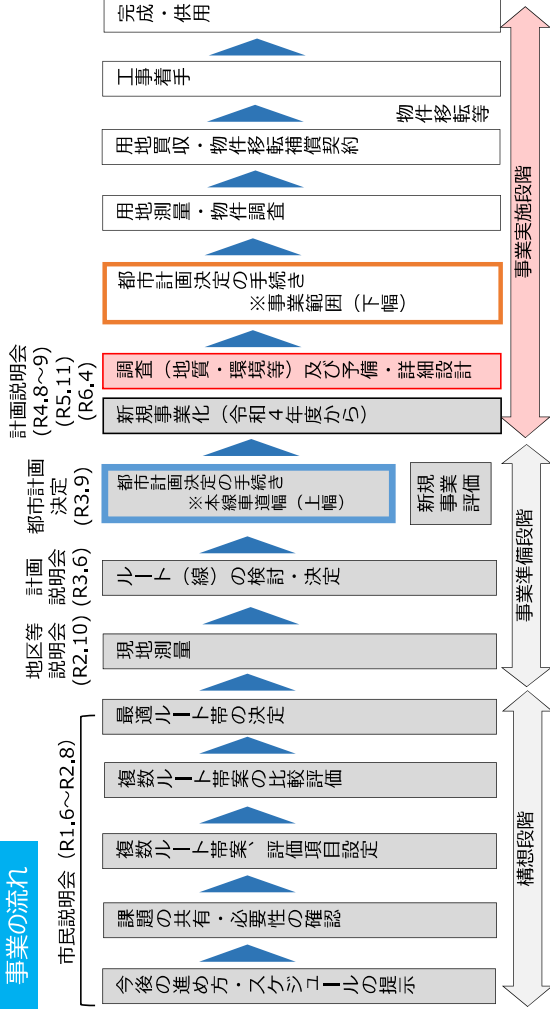
令和2年8月にルート帯を決定し、その後、現地での測量やルート線の検討を進め、地域の皆様へご説明を経て、令和3年9月に都市計画決定しました。
その後、関係機関との調整や事業評価の手続きを進め、令和4年度から、国庫補助事業として着手しました。
今後、設計や測量を進めて、早期の工事着手・効果発現を目指します。



完成イメージ
※関係機関の設計を基に作成したフォトモンタージュです。今後の検討状況により変更の可能性が有ります。



事業の流れ



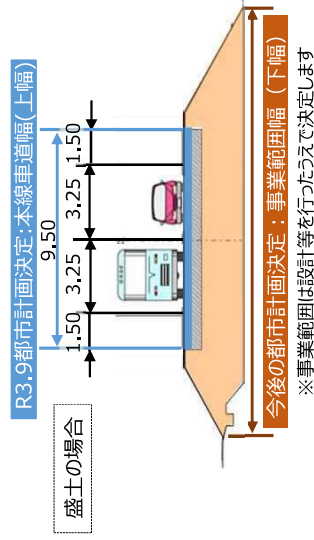
区間	これまでの主な取組	R6年度主な予定(下記以外の調査・設計等も予定)
(1) 安曇野北IC(豊科)	地形測量	インターチェンジの設計、路線測量等
(2)(3) 犀川右岸(豊科~明科)	地質調査 環境調査	道路や高架橋の設計、路線測量等
(4) 三川合流部(橋梁)	道路・橋梁の 予備設計 など	渡河部の橋梁設計、路線測量等
(5) 高瀬川右岸(穂高)		道路や高架橋の設計、路線測量等

R6年度前半の主な業務 ※調査時は身分証を携行します

■ 現地測量：事業範囲・用地影響幅の目安(杭)設置
 ※R6.5 ~ R6.6を予定
 (状況により変更となる可能性があります)

- ▶ 区間①②：(株)アンドー、
- ▶ 区間④：(株)大成測量設計

標準的な幅員 (単位：m)



現地測量の作業イメージ



R6.4.14説明会(安曇野市役所)

■ 説明会(令和6年4月)でいただいた主なご意見等(要旨)

説明会では、参加者の皆様から、多くのご意見、ご質問やご要望を頂きました。

主な内容については下表にまとめましたので、ご覧ください。(※)

下表以外のものも含め、いただいたご意見等は、今後の計画検討に活かしていくとともに、説明会等を通じ、回答や方針の説明に努めていきます。

※ 多くのご意見等をいただいたため、内容の集約、表記の調整をさせていただいております。
また、回答・方針については、説明会時の回答に補足した内容も含まれますので、ご了承ください。

	主なご意見等	回答・方針
安曇野北IC周辺	資料7頁のCランプ付近にトンネル(函渠)があるが、車両の通行はできるのか。	現在ある市道の付替え部分であり、車両の通行も可能となります。
	IC内に新しくできる高速バス停は使う人が少ないのではないのか。	バス会社からは(長野-松本線以外でも)使用したい旨の回答を得ており、整備は必要と考えます。
	高速バス停を移設する際、地元が使いやすいように配慮をお願いしたい。	利便性(駐車場確保等)や安全性(歩道整備等)を踏まえた検討を行っていきます。
豊科出入口IC明科IC	豊科出入口が平面交差となっているが、もっと出入りし易い計画としてもらいたい。	交通利便性を望む声がある一方、外部からの流入車両増加を懸念する意見もあり、平面交差が最適と考えます。また、安全性等の観点から本線に右折レーンを設けます。
	外部から来た人は、明科ICへ行かずに豊科出入口で降りてしまうのではないのか。	豊科出入口は地元の方等の利用を主に想定しており、外部から来た方へは標識等で明科ICへ誘導したいと考えています。
	堤防へ行けるように道路盛土へトンネルや歩道橋の整備を検討してほしい。	堤防近接区間ではトンネルや歩道橋により堤防機能に影響が生じるため困難と考えています。他方、堤防に近接しない安曇野北ICや明科IC付近には堤防へ往来できる箇所を設ける予定です。
明科IC穂高南IC	三川合流部の橋脚配置等について、以前より橋脚の数が減ったことで安心した。	今後も河川管理者と十分な協議を行い、構造等の検討を深めていきます。
	三川合流部の地下水対策については、環境部署とも連携して進めてもらいたい。	市の環境部署との連携のほか、各種環境調査等を実施した上で、十分配慮していきます。
穂高南IC穂高北IC	橋からのゴミ投下が心配であり、美観とのバランスもあるが、投下防止のフェンスを作ってもらいたい。	ゴミの投下対策は、フェンスも含めて今後検討していきます。
	コンクリート製の防護柵は、橋梁から穂高北ICを降りた後も続くのか。	コンクリート製防護柵は橋梁上のみであり、穂高北ICの北側は現状と同様のガードレール又はガードケーブルを想定しています。

主なご意見等		回答・方針
高瀬川右岸道路	穂高北 IC から北側の町までの区間についても整備していくのか。	まずは、安曇野道路を先行して進めて、次の展開として現道活用区間の整備を具体的に検討していく予定です。
	安曇野市内の現道活用区間(高瀬川右岸道路)について、接続する市道交差点からの出入りは出来るのか。	今後検討することになりますが、現在接続している市道は可能な限り、現状の出入り機能を維持したいと考えています。
周辺道路対策	光橋の下を通る市道(豊科2級13号線)や堤防道路等、通勤車両の地区内への流入対策を実施してほしい。	令和6年3月に通勤時間帯の交通量調査を行いました。(資料42頁) この結果等もふまえ、どのような対策ができるか、今後検討していく予定です。
	夜間照明について検討はしているのか。	必要性もある一方で、住宅地や田園に近接する部分についての配慮も必要であり、今後検討していく予定です。
供用後の管理	安曇野道路(新設 IC 含む)の管理者は誰になるのか。	安曇野道路は県が事業主体であり、供用後の管理も基本的には県が行います。
	雪が降った際、除雪等はどこが対応するのか。	安曇野道路は県管理道となるため、安曇野建設事務所で対応します。
	安曇野道路内を歩行者は通れるのか。	歩行者や自転車等は通行の規制を検討しており、公安委員会と調整を行っています。
用地関係等	田畑が小さくなった際に、代替農地などはどのように探せばよいのか。	県や市でも可能な範囲で代替農地を探す協力をしていきたいと考えています。
	工事着手はいつ頃を予定しているのか。	これから用地測量等に着手する段階であり、工事着手時期は未定です。
	用地が全て買収できた後に工事着手をするのか。	事業区間が長いと、ある程度用地が確保できた段階で工事に着手したいと考えております。(資料30頁参照)
計画全般	地域にとってどのような効果を想定しているのか。	移動時間の短縮や市内の交通状況改善により、交通・医療・防災・産業・観光面などで、多様な効果が発現すると考えています。
	安曇野道路を光橋の交差点まで接続すべきではないか。	どこに接続をするかは様々な案が考えられますが、過去の検討や地元協議を重ねた中で、現在の長野道と接続することが最適であると考えています。
	過去に複数案あったが、そこからの選定経過について、しっかりと説明をもらいたい。	複数案を検討する中で、地元説明会を重ね、現在の案に選定した経過があります。今後も丁寧な説明に努めていきます。

注)IC(インターチェンジ)や出入口の名称は全て仮称となります。また、前回説明会(R5.12)結果回覧時に掲載したご意見等のうち、今回の説明会(R6.4)で再度いただいた項目は記載を割愛しておりますので、ご了承ください。

地域高規格道路 松本糸魚川連絡道路 安曇野市 新設区間（安曇野道路） 計画説明会

説明会
配布資料



1

<説明会等の内容>

1 開会

2 あいさつ

3 説明事項

I. 安曇野道路

(i) 事業概要 (過去の経過含む)

(ii) 設計概要 (道路構造や事業範囲幅等)

(iii) 調査予定 (測量・地質調査等)

今後の進め方

II. 関連市道整備

(i) 検討状況

(ii) 今後の予定

4 意見交換等

5 閉会

(閉会后、個別にご意見やご相談をお聞きします)

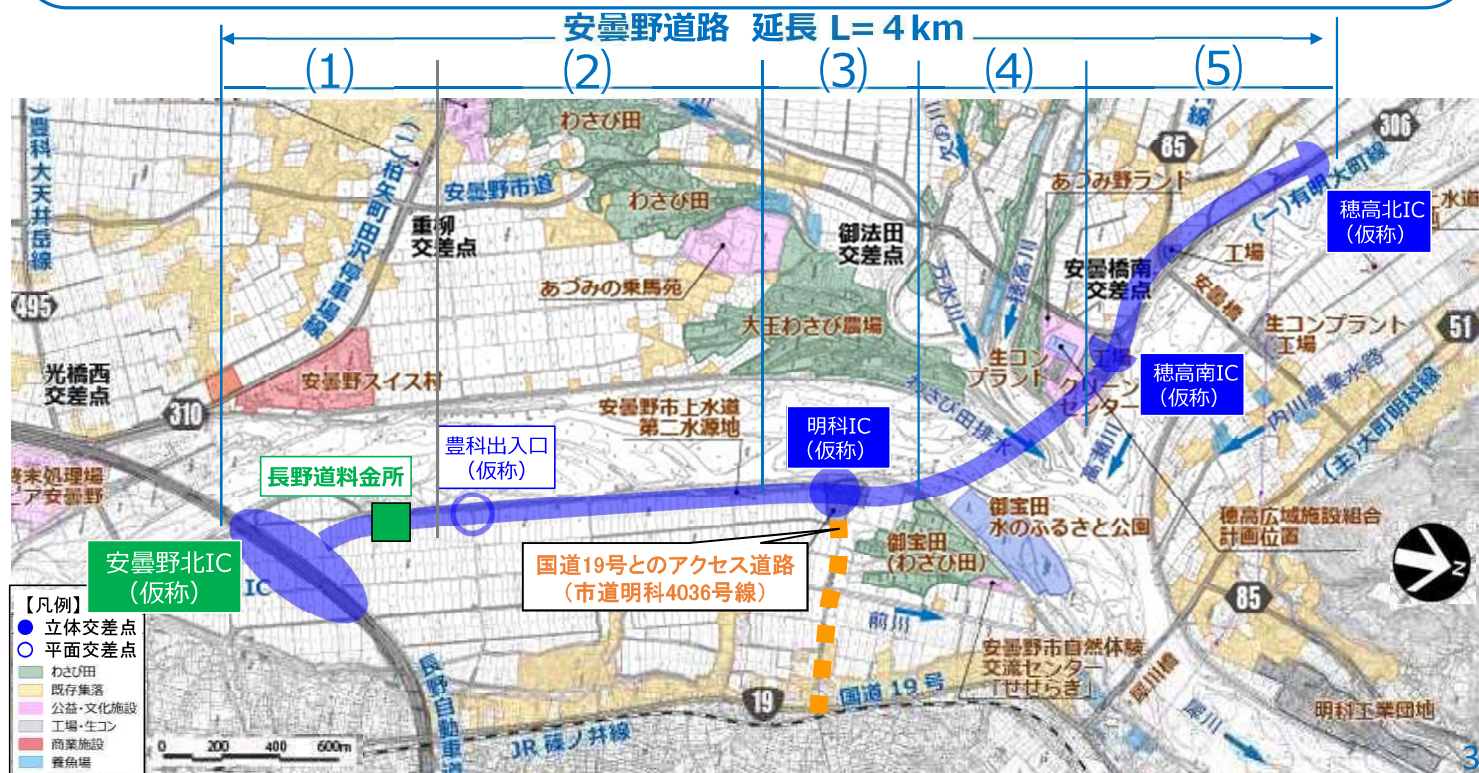
意見交換等の
主な対象項目

2

(i) 事業概要：安曇野道路の概要（ルート）

長野自動車道と高瀬川右岸道路を結ぶ新しい道路を整備します。

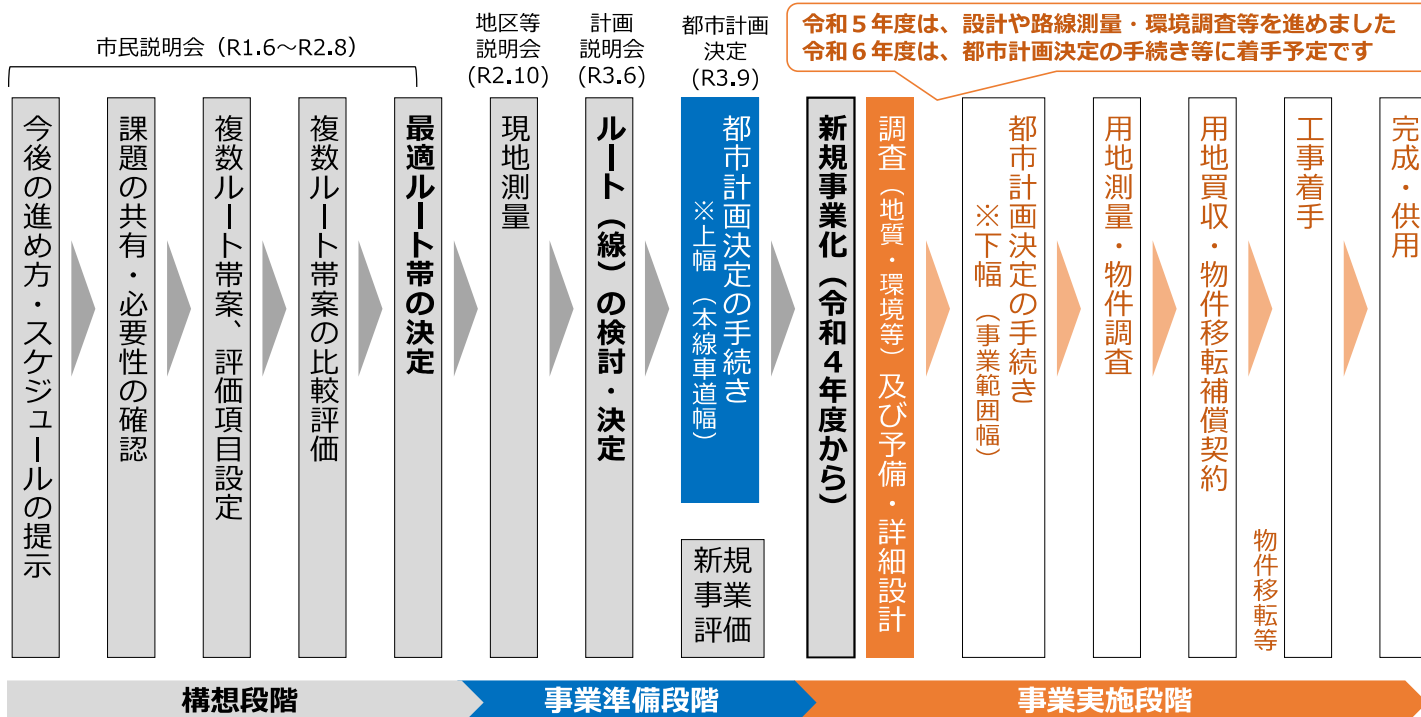
犀川右岸および高瀬川右岸の地区に出入口（既存路線へ接続、立体交差形式を基本）を設置し、高速道路へのアクセス性を向上させるとともに、市街地内の通過交通を新しい道路へ転換させます。地域分断、農地買収等の影響を少なくするため、ルートは、犀川及び高瀬川にできるだけ寄せるよう計画しています。



安曇野道路 事業の流れ

計画説明会(R4.8~9、R5.11、R6.4)

令和5年度は、設計や路線測量・環境調査等を進めました
令和6年度は、都市計画決定の手続き等に着手予定です



市民説明会(R2)



地形測量(R3)



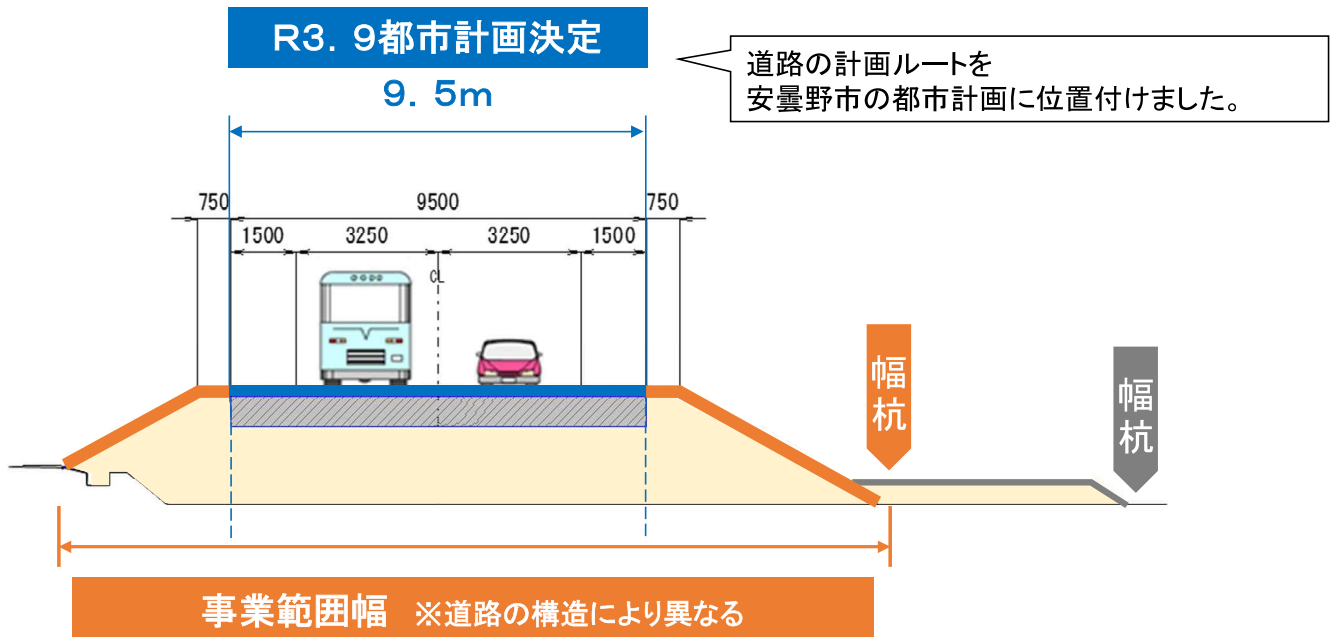
地質調査(R4)



長野道上での測量(R5)

都市計画決定について

安曇野道路は、安曇野市の将来のまちづくりに向け、「広域化した市域の連携強化」「災害時の代替路確保」「観光地へのアクセス向上」といった役割を果たすものです。その役割を確実に果たすためには、計画的な整備が不可欠となりますので、安曇野道路を、安曇野市の基幹となる重要な都市施設として都市計画に定めていきます。



測量や地質調査等の結果をふまえ、擁壁や盛土など道路の構造について設計の精度を高め、盛土法面なども含む、道路として実際に必要となる範囲(影響幅)について、あらためて都市計画決定(変更)の手続きをとります。

5

(I) 安曇野道路

(ii) 設計概要 (道路構造や事業範囲幅等)

※一部IC名の“仮称”を省いています

6

(1) 安曇野北IC (仮称) イメージ図

現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

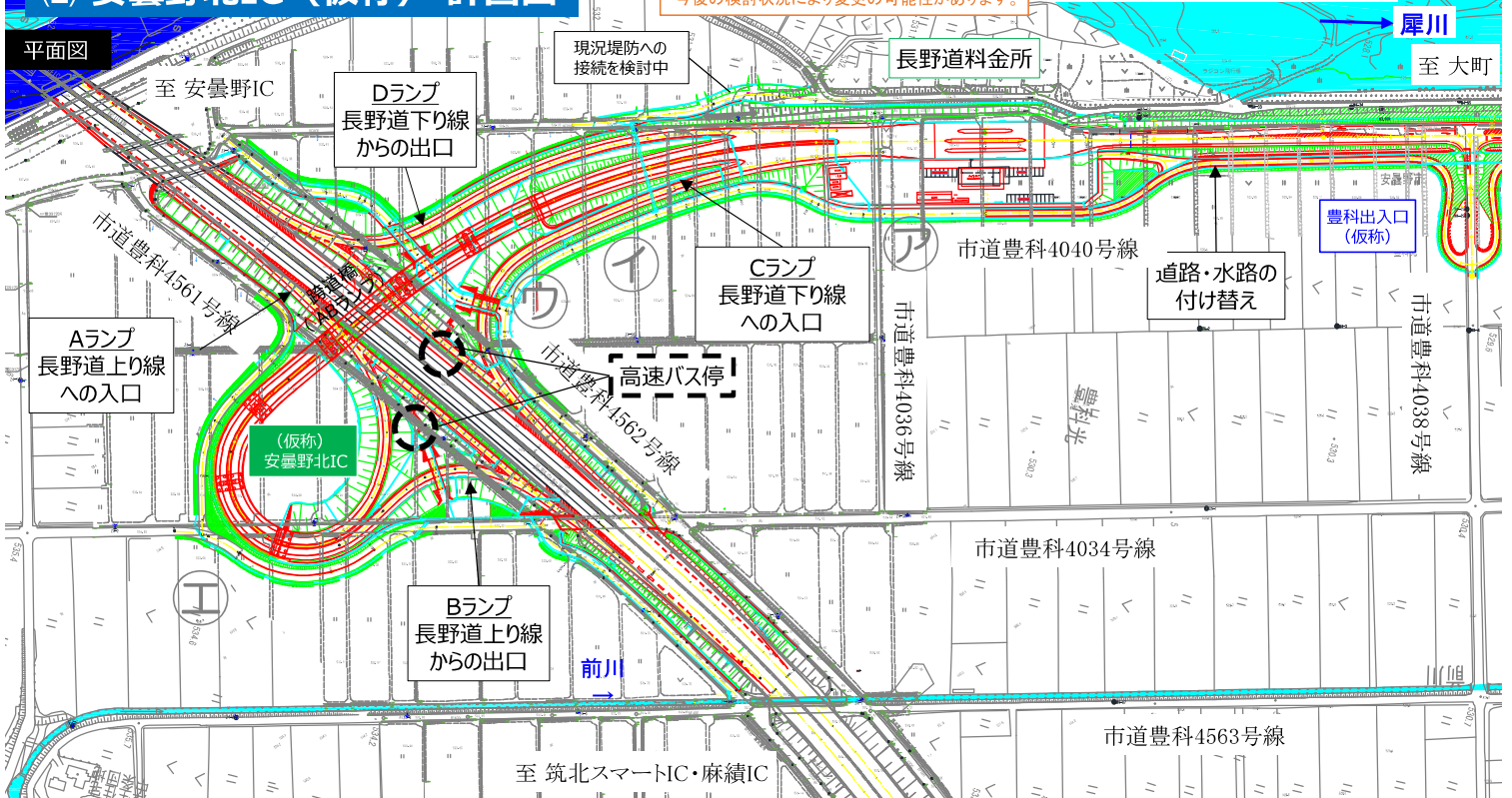
※ランプ：道路相互を連結する道路



(1) 安曇野北IC (仮称) 計画図

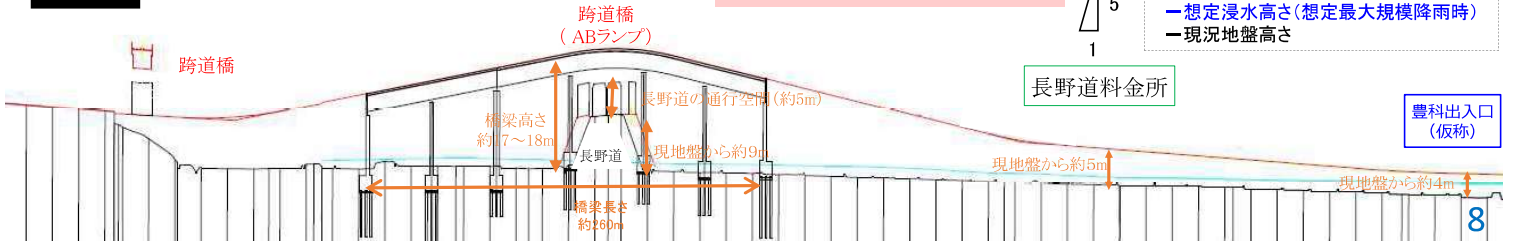
現段階の図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

※ランプ：道路相互を連結する道路



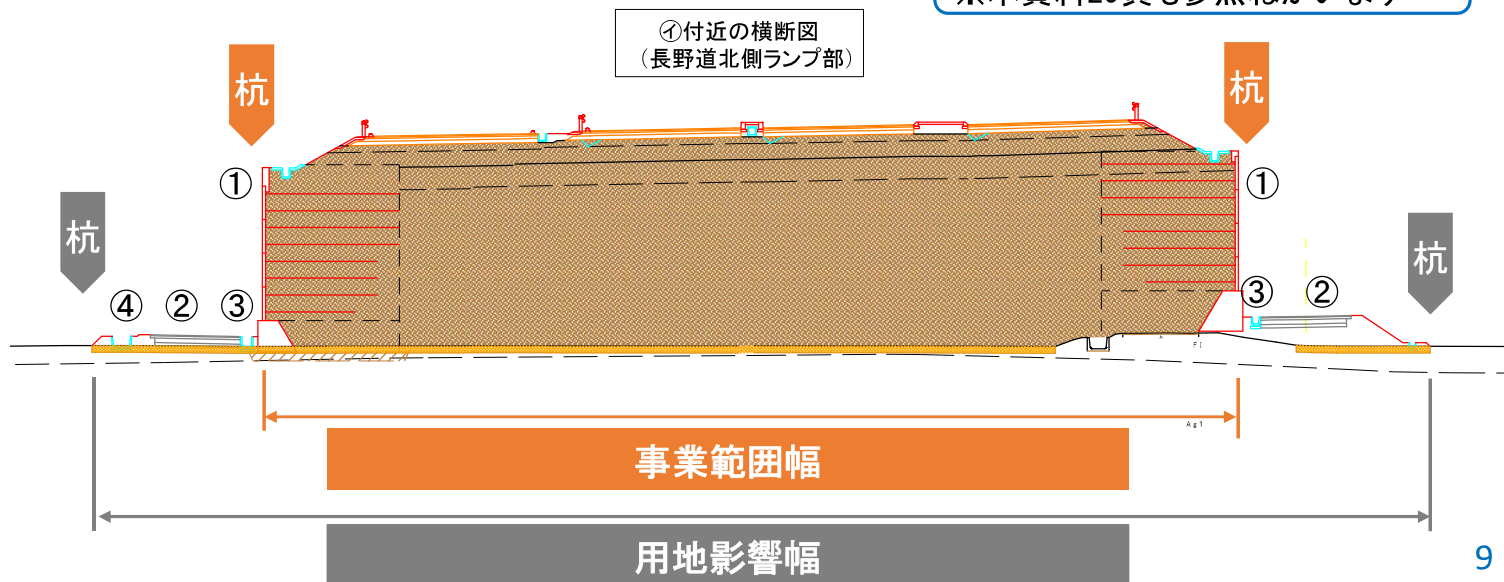
縦断面図

注) 縦の高低差を5倍に強調して図化しています



- ① 農地への影響を抑えるよう、直壁の補強土壁等による構造とします
- ② 近傍の道路(市道・農道)や水路は、安曇野北ICの横等へ付け替えを行います。
(補強土壁等までが都市計画決定予定の事業範囲、畔の法下までが用地影響幅となります)
- ③ 安曇野北ICと付替え道路の間に道路排水を設けます。
- ④ 付替え道路と農地の上に用水路を設けます。

今後、現地に幅の目安となる杭を設置予定です(R6.5~6予定)
※本資料29頁も参照ねがいます



1) 安曇野北ICの事業範囲・用地影響幅

- ☑ 主な箇所における民地の用地影響幅の目安は以下のとおりです
(現在の市道や用水路等の民地以外が別途影響する箇所もあります)
※個々の土地に関するご意見や質問等は、個別にご相談ください。

- ㊦ 安曇野北IC料金所付近: 約60m + 市道や用水路等
 - 料金所施設や駐車場等があるため、広がっています
- ㊧ 長野道北側ランプ部: 約40~80m
 - 料金所側は4つのランプが合流するため、約40mです
 - 長野道側は4つのランプが分かれるため、約80mです
- ㊨ 長野道近辺: (部分的な影響)
 - 長野道両脇は、長野道法面や側道の範囲を活用するため、影響は部分的です
 - 長野道北側は、市道や水路の付替えにより、広い部分に影響します
(市の歩道計画等により、今後変更となる可能性があります)
- ㊩ 長野道南側ランプ部: (変則的な影響)
 - ランプがループ(曲線)になっているため、影響は変則的となります
 - ループの内側についても、用地買収を予定しています

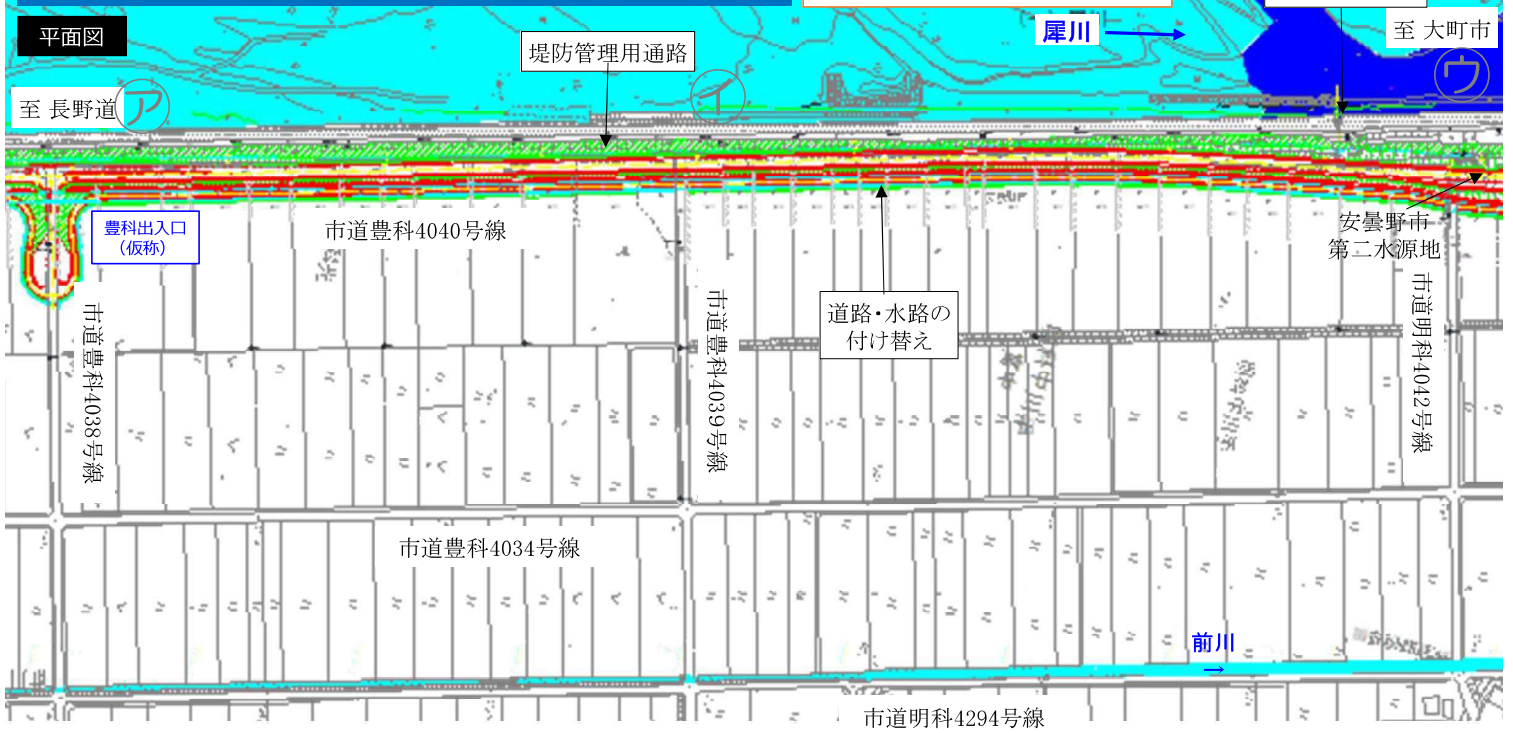
(2) 犀川右岸（安曇野北IC～明科IC）イメージ図

現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。



(2) 犀川右岸（安曇野北IC～明科IC）計画図

現段階の図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。



縦断面図

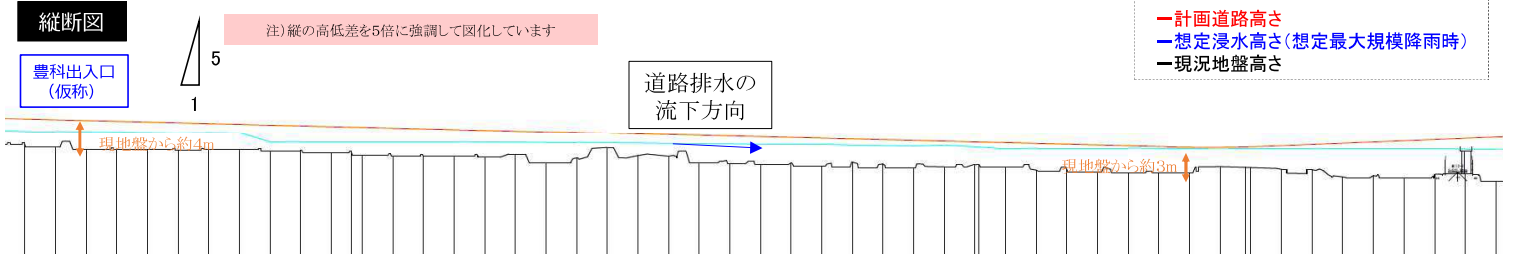
注) 縦の高低差を5倍に強調して図化しています

豊科出入口 (仮称)



道路排水の
流下方向

- 計画道路高さ
- 想定浸水高さ (想定最大規模降雨時)
- 現況地盤高さ



(3) 犀川右岸（明科IC付近）イメージ図

現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

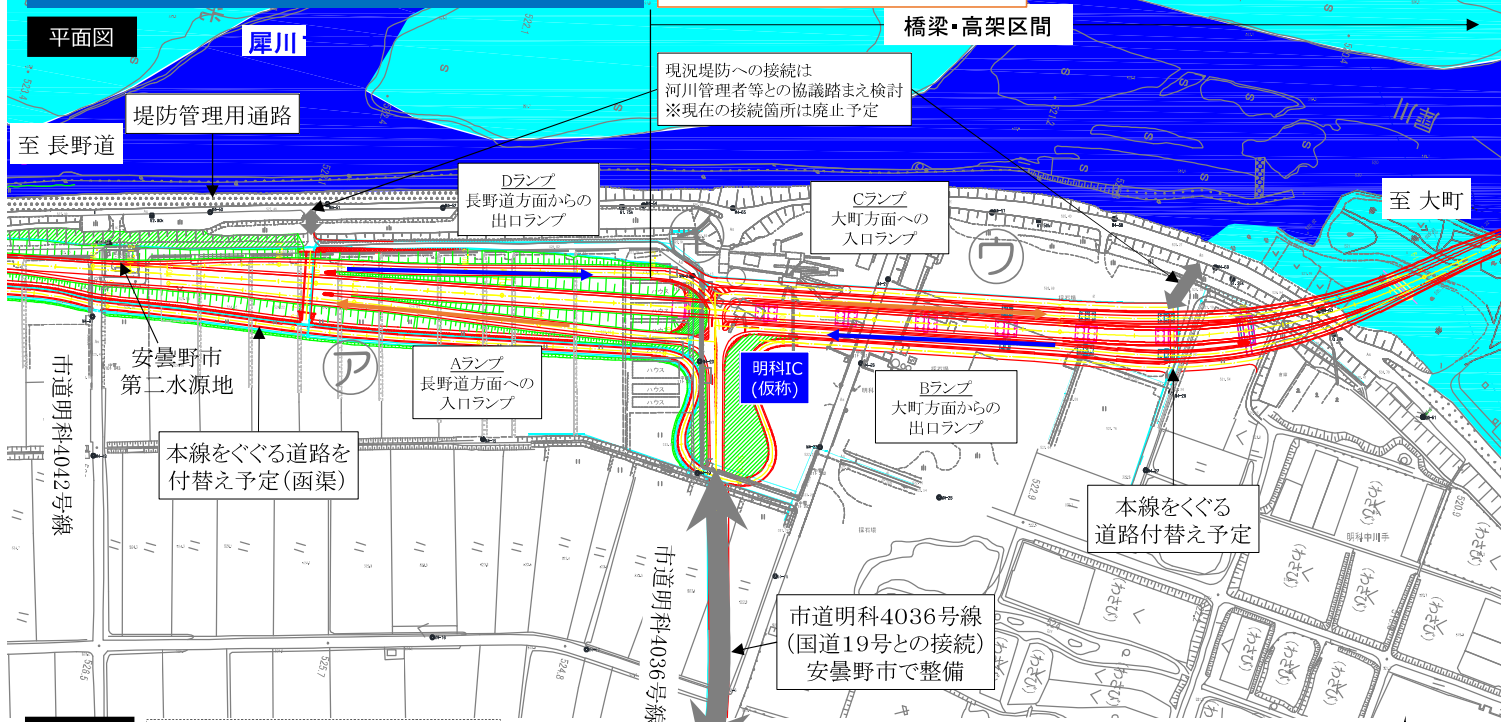
※ランプ：道路相互を連結する道路



(3) 犀川右岸（明科IC付近）計画図

現段階の図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。

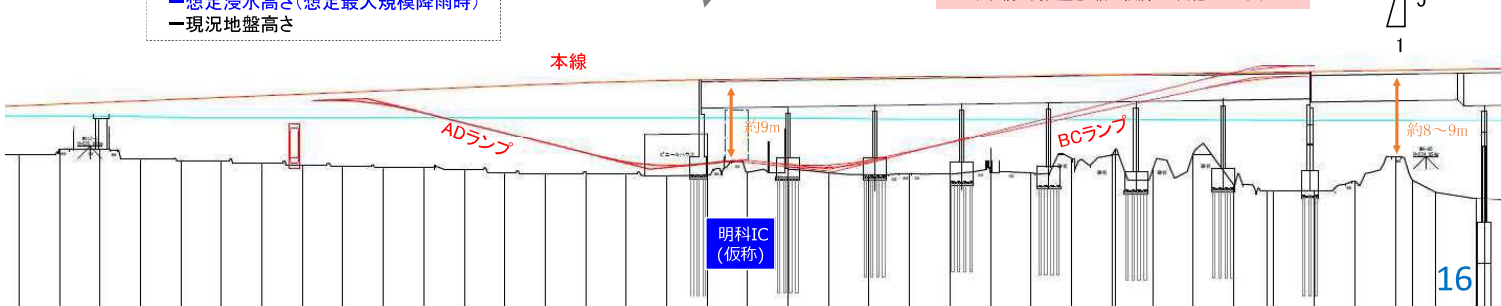
※ランプ：道路相互を連結する道路



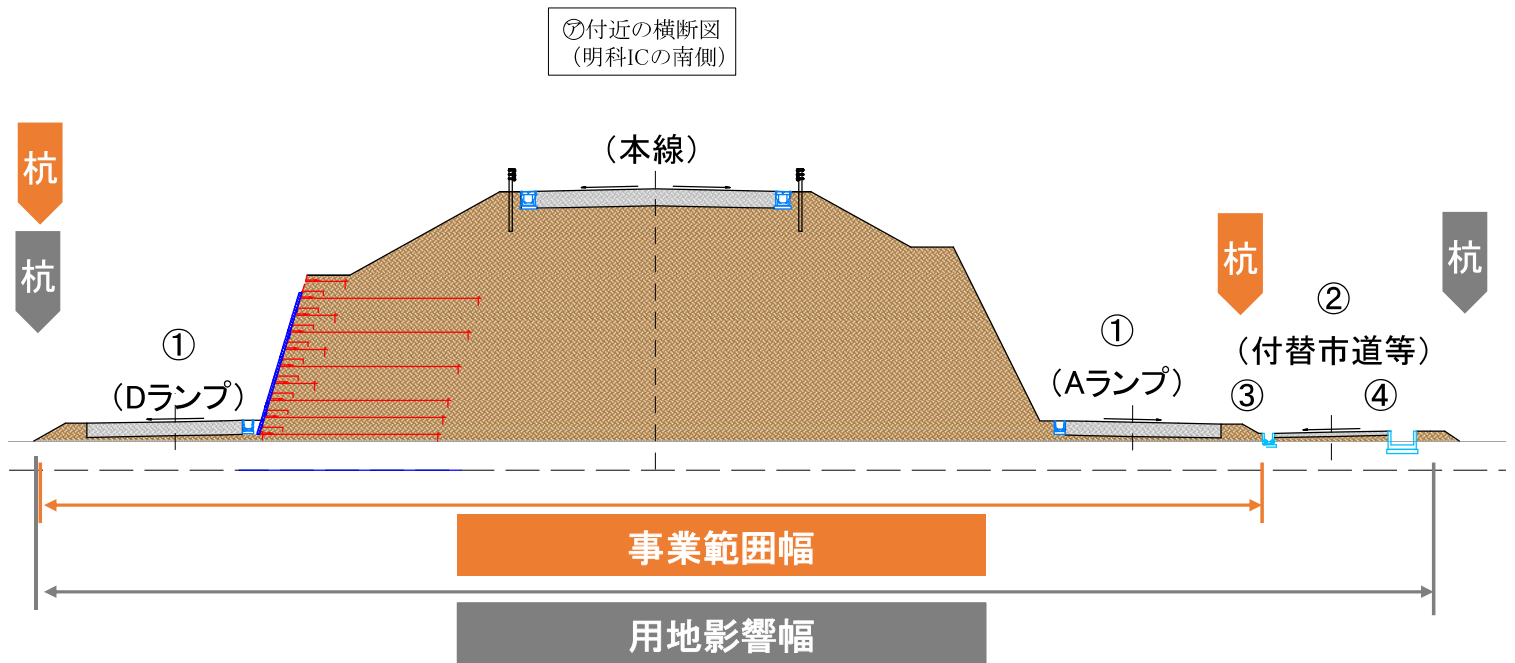
縦断面図

- 計画道路高さ
- 想定浸水高さ(想定最大規模降雨時)
- 現況地盤高さ

注) 縦の高低差を5倍に強調して図化しています



- ① 明科ICでは、安曇野道路本線の両脇に乗り降りするためのランプを設けます
- ② 近傍の道路（市道・農道）や水路は、明科ICの横へ付け替えを行います。
- ③ 明科ICと付替え道路の間に道路排水を設けます。
- ④ 付替え道路と農地の間に用水路を設けます。



(3) 犀川右岸（明科IC付近）事業範囲・用地影響幅等

- ☑ 主な箇所における民地の用地影響幅の目安は以下のとおりです
(現在の市道や用水路等の民地以外が別途影響する箇所もあります)
※個々の土地に関するご意見や質問等は、個別にご相談ください。

- ㉞ 明科ICの南側(Aランプ・Dランプ): 約40~55m
 - 横断道路(函渠)付近: 約40m
 - 北側へ向かうほど、道路高や盛土等の関係で影響幅が広がります
- ㉟ 市道明科4036号線 接続部付近: 約35~50m
 - 市事業の影響を含め、別途影響する範囲が広がります
- ㊱ 明科ICの北側(Bランプ・Cランプ): 約35~45m
 - 接続部の南側は、上記㉞同様に高さや盛土等の関係で影響幅が広がります
 - 接続部の北側は、付替え市道が両側に整備予定です

- 橋梁は現場条件等から以下4区間に分け、今後詳細な検討・設計を行います

▶明科高架	コンクリート橋	延長約300m	} 全延長 約1770m
▶渡河部	鋼橋	延長約640m	
▶穂高高架(南)	鋼橋	延長約450m	
▶穂高高架(北)	コンクリート橋	延長約380m	

- 明科ICのB・Cランプと穂高南ICのADランプの橋梁は、コンクリート橋を予定しています

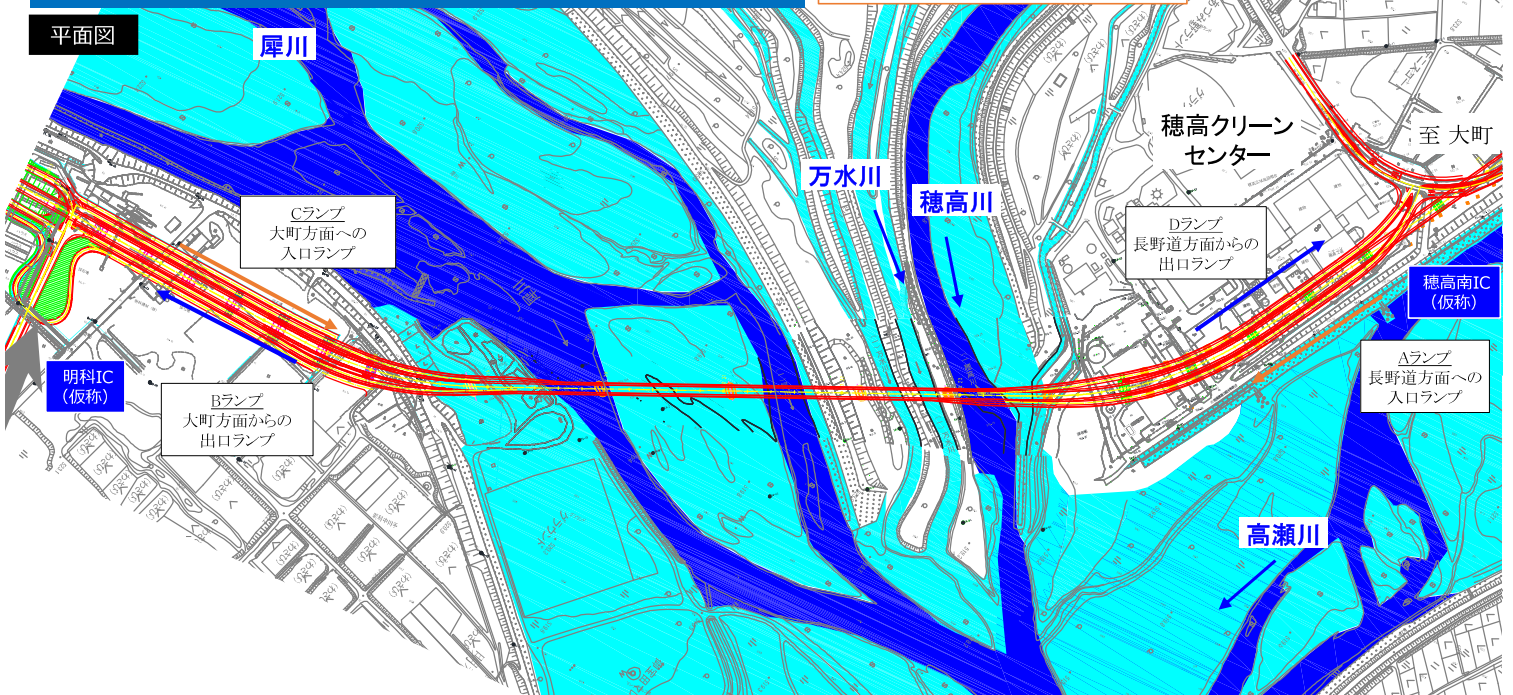
(4) 三川合流部（明科IC～穂高南IC）イメージ図

現段階のイメージ図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。



(4) 三川合流部（明科IC～穂高南IC）平面図

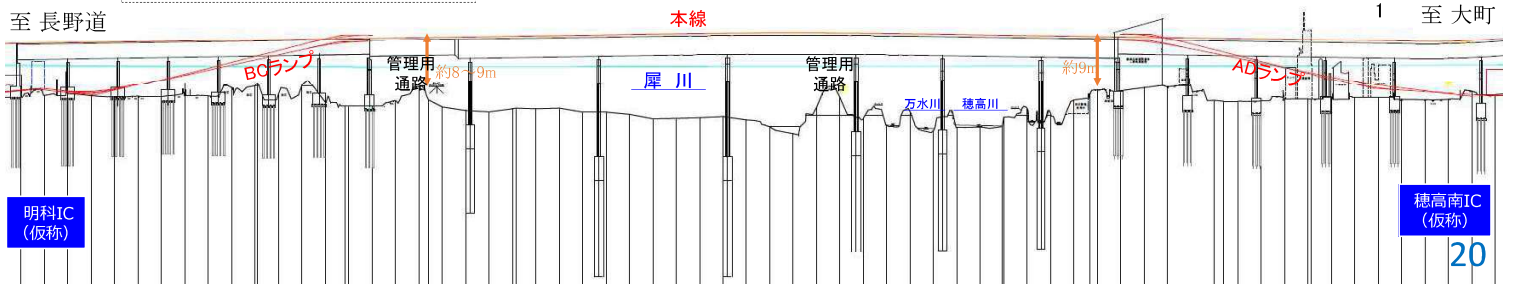
現段階の図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。



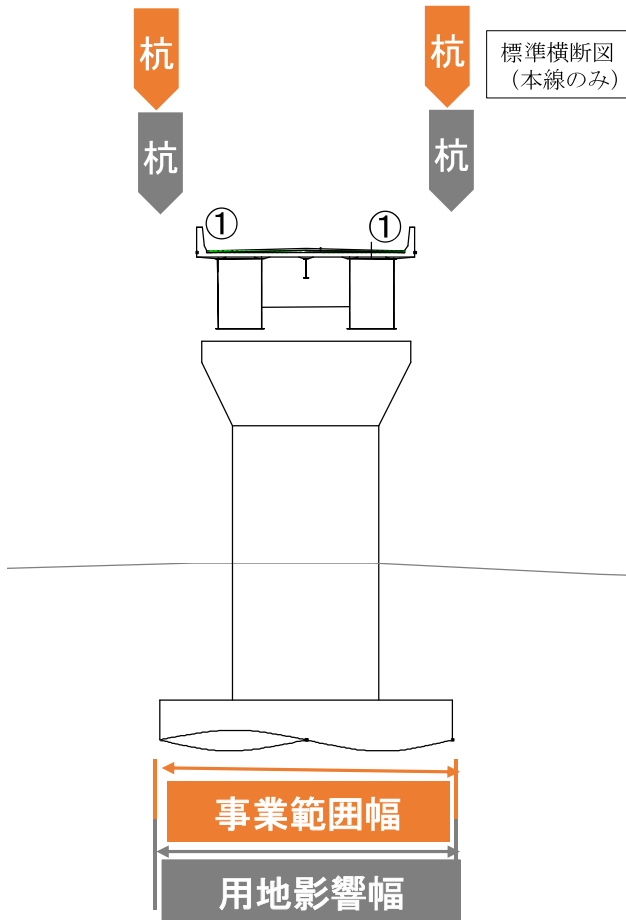
縦断面

- 計画道路高さ
- 想定浸水高さ(想定最大規模降雨時)
- 現況地盤高さ

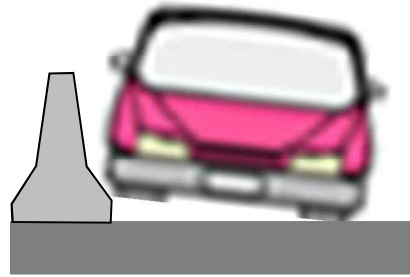
注) 縦の高低差を5倍に強調して図化しています



- ① 安曇野道路本線は幅員9.5mにコンクリート製の防護柵を設けた幅となります
- ② 犀川の両岸では、本線に加えてIC乗り降りのランプが必要となるため、幅員が広いです。

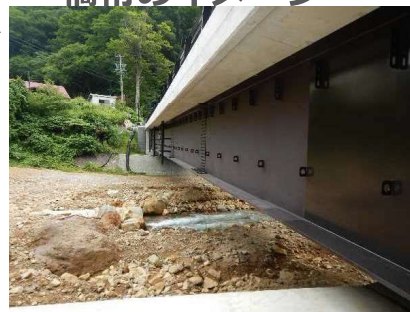


防護柵のイメージ



安全性を高めます
 車両衝突時に、先にタイヤがのりあがるため、車両本体への損傷が小さくなります

橋桁のイメージ



**景観を阻害しない
 褐色系等を検討中**

- ・塗装しない鉄骨の色
- ・経年変化で
赤褐色→黒褐色に変化
- ・表面に生じる安定サビは鉄骨を守る保護膜の役目

(4) 三川合流部（明科IC～穂高南IC） 基礎工法の事例

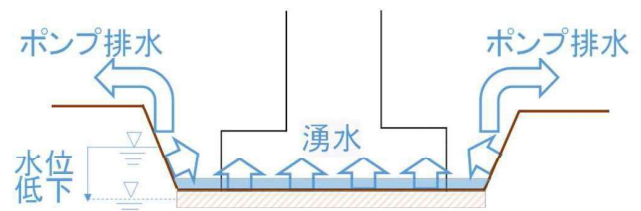
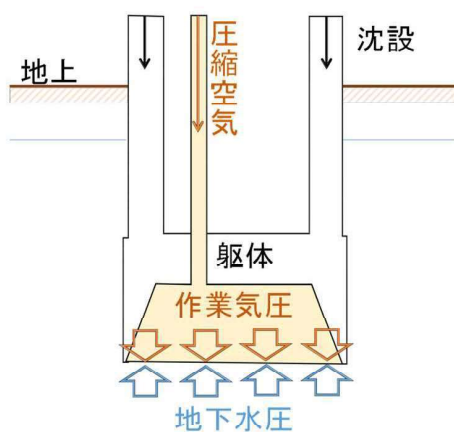
- 地質調査ボーリング結果等をふまえ、橋脚の底版位置を検討しました
 - ・河川内は、地中深さ20m程度のニューマチックケーソンにより地下水位低下を低減します
 - ・明科IC周辺の陸上部は、地下水位よりも高い位置を底版位置とし、地下水位低下を低減します

○河川部（犀川）

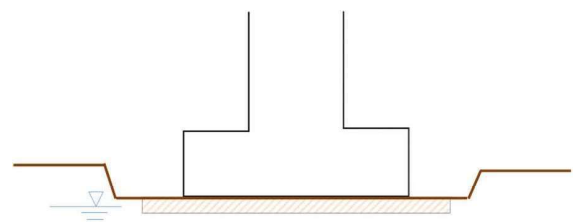
○陸上部（明科IC付近）

地下水位面以下まで掘削すると湧水が発生しやすい

ニューマチックケーソンによる湧水防止
 (躯体を地上で構築後に沈設させる)



地下水位より高い位置までの掘削とする



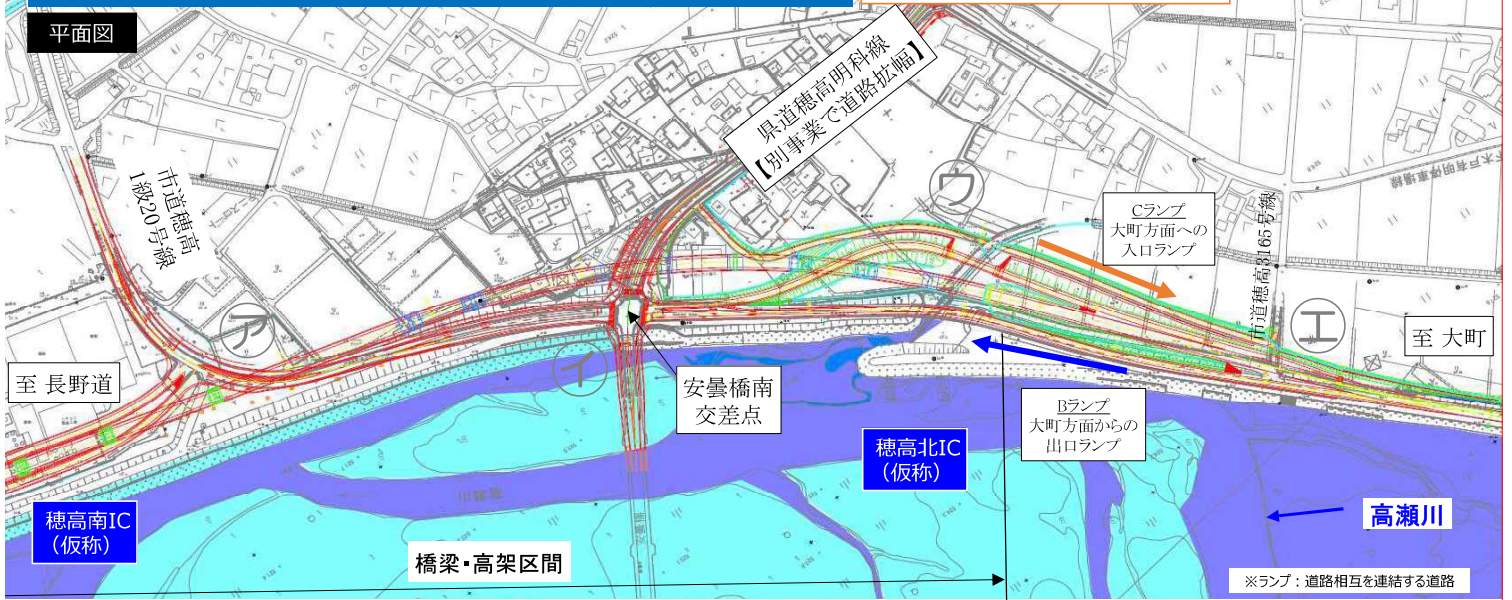
(5) 高瀬川右岸（穂高南IC～穂高北IC）イメージ図

現段階のイメージ図をお示しています
今後の検討状況により変更の可能性があります。



(5) 高瀬川右岸（穂高南IC～穂高北IC）計画図

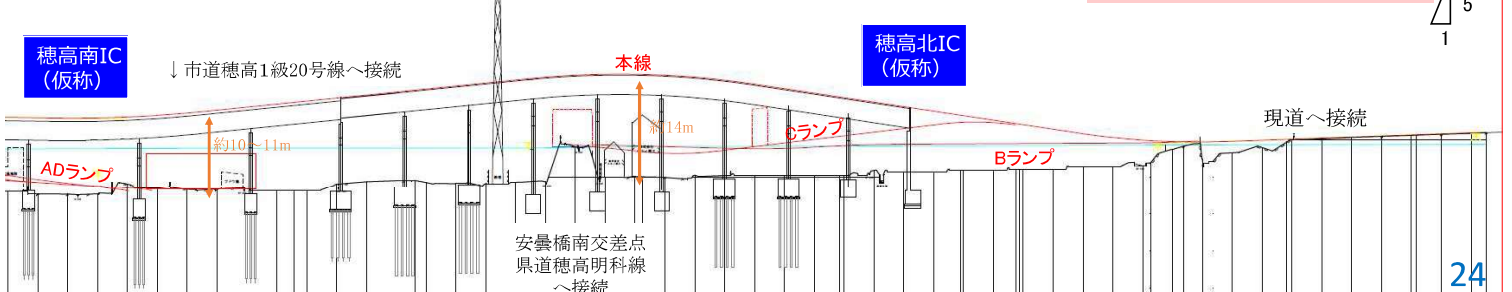
現段階の図をお示しています。
今後の検討状況により変更の可能性があります。



縦断面図

- 計画道路高さ
- 想定浸水高さ (想定最大規模降雨時)
- 現況地盤高さ

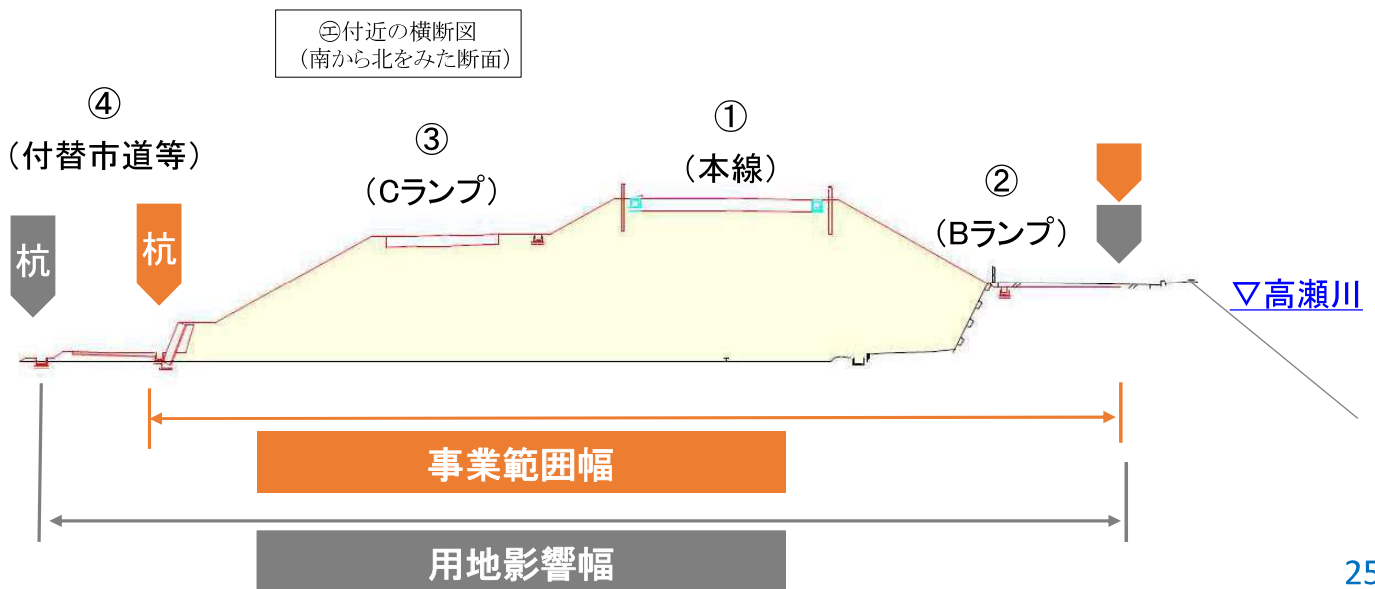
注) 縦の高低差を5倍に強調して図化しています



(5) 高瀬川右岸（穂高北IC付近）道路構造

※標準的な事項であり、区間によって差異が生じます

- ① 穂高北ICでは、安曇野道路本線の両脇に乗り降りするためのランプを設けます
- ② 現在の高瀬川右岸道路（県道有明大町線）はBランプ（1車線）として活用します
- ③ 安曇野道路本線の住宅地側へCランプを設けます
- ④ 現在、河川堤防の住宅地側にある道路や水路は、Cランプの住宅地側へ付け替えを行います
 - ・Cランプと付替え道路の間に道路排水を設けます。
 - ・付替え道路と農地の間に用水路を設けます。



25

(5) 高瀬川右岸（穂高北IC付近）事業範囲・用地影響幅等

- ☑ 主な箇所における民地の用地影響幅の目安は以下のとおりです
(現在の市道や用水路等の民地以外が別途影響する箇所もあります)
※個々の土地に関するご意見や質問等は、個別にご相談ください。

- ㊦ 高架橋付近: 幅員9.5m+コンクリート製防護柵幅+ α
 - ・近隣市道等について変則的な影響が生じます
- ㊧ 安曇橋南交差点付近(変則的な影響)
 - ・交差点付近は箇所により影響範囲が異なり、影響は変則的となります
- ㊨ 穂高北ICの中央部付近: 約40~50m
 - ・Cランプが住宅地側を通る関係で、中央部付近で影響幅が広がります
- ㊩ 市道穂高3165号線付近: 約10~20m
 - ・穂高北ICから高瀬川への接続部に向かって、徐々に影響幅が小さくなっていきます

○ 住宅地近傍の高架橋は、鋼橋より騒音が低減されるコンクリート橋を予定しています。

○ 市道穂高3165号線と高瀬川右岸道路の接続部は、穂高北ICの合流部となり交差は危険なため、高瀬川右岸道路へ向かう際は、穂高北ICのCランプ沿いに付替える市道をご利用ねがいます

26

(I) 安曇野道路

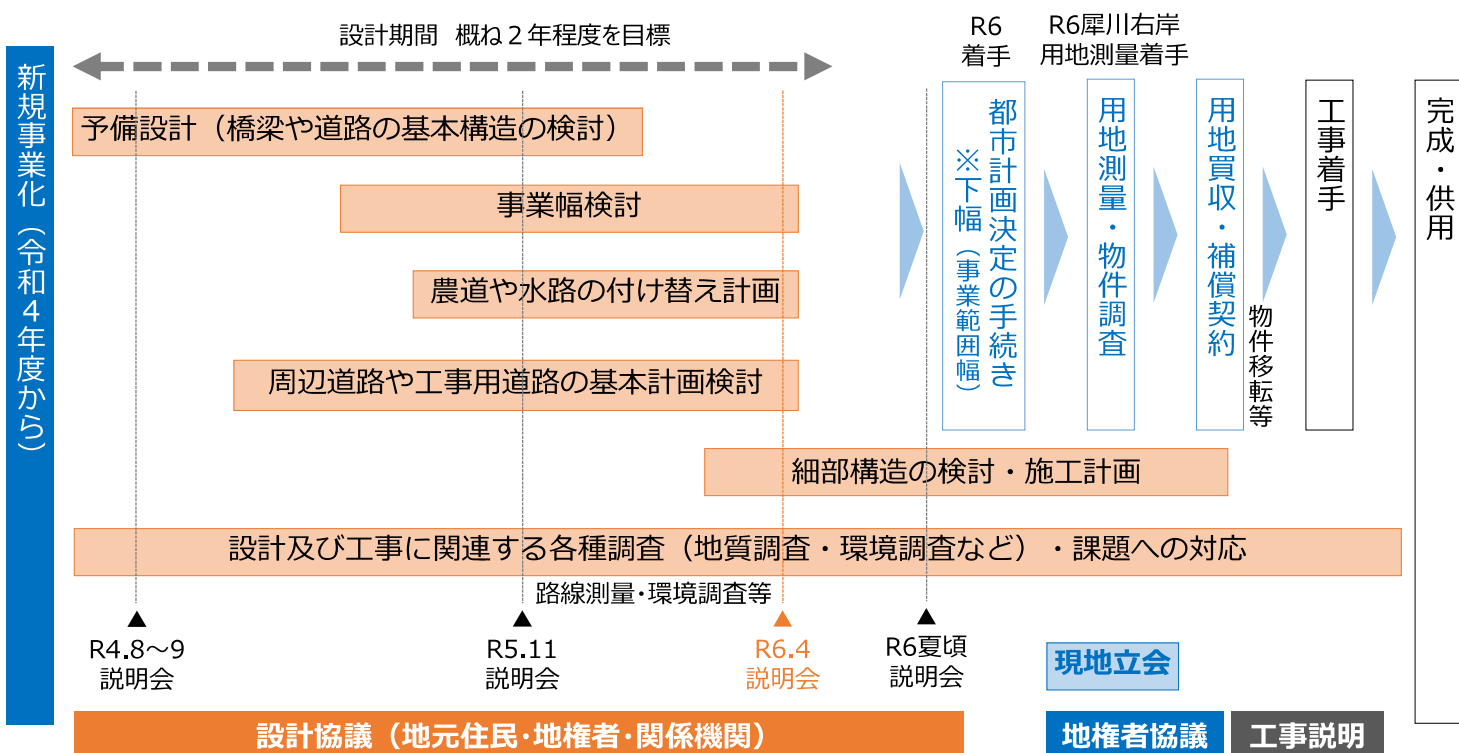
(iii) 調査予定と今後の進め方

※一部IC名の“仮称”を省いています

今後の流れ

- R4.8~9 : 設計方針等についてご説明しました。
- R5.11 : 具体的な設計内容等についてご説明しました。
- R6.4 : 具体的な事業範囲（用地影響）幅等をご説明しました。
- R6.夏頃 : 都市計画決定の内容等について説明予定です。

注) 今後の予定は R6.4時点での目安です



今後の進め方 計画地周辺の土地所有者の皆様へ

- ・ 土地を貸している方は、土地利用者への情報提供を行っていただきますようお願いいたします。

- 事業範囲(用地影響)幅を、今後、現地へ目安(杭)としてお示しします
 - ・ 現地測量と作業はR6.5～R6.6頃を予定
 - ・ 設置場所は畔等とし、杭は頭まで打ち込むなど、支障の少ない方法を予定
- 用地境界等の確認のため、今後、用地測量を実施予定です(実施時に改めてお知らせします)
 - ・ 犀川右岸 : R6秋以降に実施予定
 - ・ 高瀬川右岸: 時期未定※用地測量後、現在の用地境界確認の立会い等もお願いさせていただきます
- 犀川右岸の耕作等について、少なくとも令和7年度秋までは可能な工程を考えています(高瀬川右岸については、詳細な工程は未定となります)
なお、工事着手後も、影響範囲以外での耕作が極力行えるよう施工計画を検討しています
また、用地買収地以外の農地貸借等について、市と連携してご意見をお聞きします
- 工事を実施する際、借地へのご協力をお願いする場合があります
また、工事ヤード等として土地をお貸しいただける方は、ご一報いただけると幸いです(借地のご希望に沿えない場合もありますので、ご了承ください)

上記について、ご意見や質問等がある際は、建設事務所へご相談ください

29

今後の進め方

工事着手・完成予定時期等について

- 今後、道路事業として必要な土地範囲を都市計画決定した後、用地買収に入る予定です。
その後、ある程度用地が確保できた段階で工事に着手します。
また、早期に効果が出るよう、部分的な供用等も含めて検討を進めます。
- 犀川右岸地区の工事用道路について、主に以下のルートを予定しています。
今後、高瀬川左岸も含め、更に具体的な内容を検討していきます。
 - ・ 安曇野道路 買収地内
 - ・ 安曇野道路沿いの付替え市道・既存市道等
 - ・ 犀川右岸 堤防管理用通路
 - ・ 安曇野道路と幹線道路(国道19号等)を結ぶ市道 (市道明科4036号線含む)
- 今後も、地域の意見を伺いながら、工事の順番、施工計画について検討していきます。

30

今後の調査予定 (R6前半)



31

調査・設計等の実施状況と今後の予定

※会社名は業務委託先です。
実施項目や時期は、今後の状況により変更の可能性あります。

(1)安曇野北IC	犀川右岸		(4)三川合流部	(5)高瀬川右岸	区間
	(2)堤防並行区間	(3)明科IC			
▶道路概略設計、地形測量、地質調査、環境調査等					
▶ IC設計	▶道路予備設計		▶橋梁予備設計		
▶ 路線測量 (株)ゼンシン ~R6年3月	▶ 路線測量・杭設置 (株)アンドー ~R6年6月		▶ 路線測量・杭設置 大成測量設計(株) ~R6年6月		
▶ 環境調査 ・ 動植物調査 (株)アンドー ・ 地下水解析 (株)東京建設コンサルタント ・ 水質・大気質調査等 (株)大日本ダイヤコンサルタント ▶ 道路・橋梁等構造物設計、地質調査 など					今までの主な取組み R6年度主な取組み

↓R6.3

今後、上記のとおり現地での測量や環境調査等を実施します。

- ・ 作業は、平日の概ね午前8時~午後5時の間を予定しています。
- ・ 作業時は「測量中」「調査中」等の看板を設置し、作業者は「身分証明証」を携帯します。
- ・ 一時的に土地へ立ち入らせていただく場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
(※土地を貸している際は、関係者様にお伝えいただきますようお願いいたします)

32

今後の現地作業等の予定（概要）

- 十分な測量や調査等を行い、現状を把握することで設計や工事計画に反映
- ➡ 今後、以下調査項目の現地作業を予定しています(今後変更となる可能性もあります)

現地作業予定概要 一覧表

【凡例】○：現地作業あり △：現地確認のみ

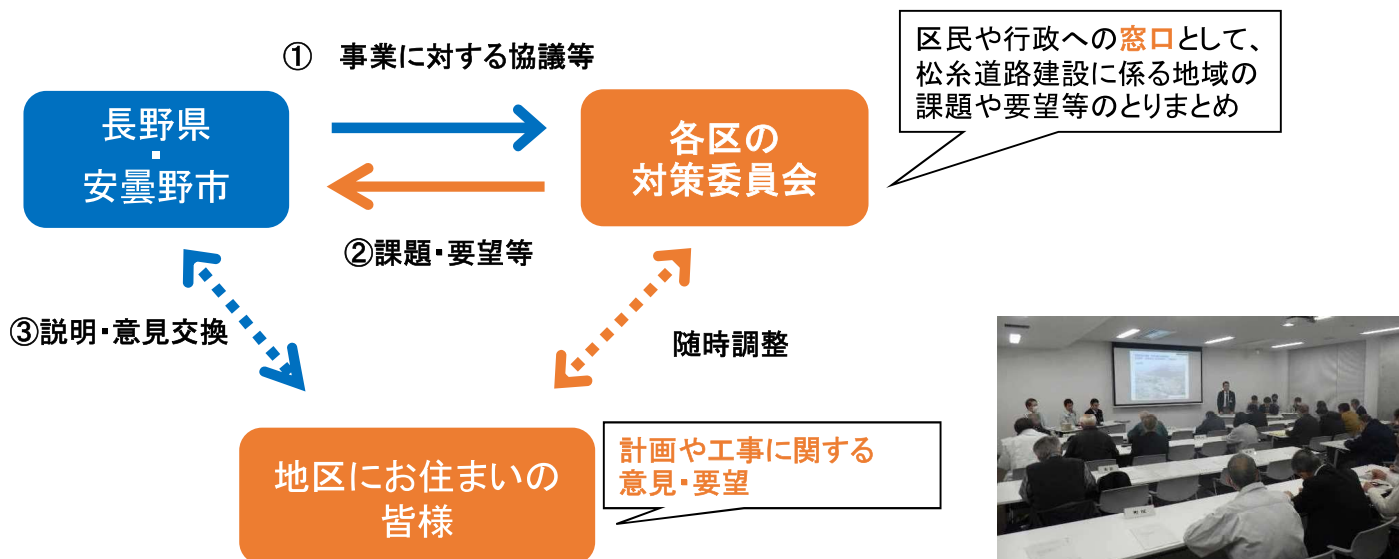
項目	作業対象						備考	作業時期					備考
	豊科光	明科光	宮中	町	狐島	河川内		R5-6冬	R6春	R6夏	R6秋	R6-7冬	
測量等 (杭設置含)	○	○	○	-	○	○	安曇野道路から 左右約50mの範囲	■	■	■			R5.11-R6.1は断続的に実施 R6.5-6を予定
動物	○	○	○	-	○	○	沿道地域	■	■	■	■		各季節1週間程度
植物	○	○	○	-	○	○	沿道地域		■	■	■		各季節1週間程度
水質		○	○	○	○	○	河川・水路等	■	■	■			R6.1～8に1回/月
大気質			○		○		官地・公用地内	■		■			各季節1週間程度
騒音	○	○	○		○		沿道地域		■				うち1週間程度
振動	○	○	○		○		沿道地域		■				うち1週間程度
日照	△	△	△	△	△	△	沿道地域						現地確認のみ
電波	△	△	△	△	△	△	沿道地域						現地確認のみ
地下水	△	△	△	△	△	△	周辺井戸観測等						現地確認のみ
地質調査						○	三川合流部 (犀川・穂高川付近)		■			(時期未定)	R6.4-5を予定 (R6秋以降の時期は未定)

33

対策委員会について

大規模な事業で完成までに時間を要することを踏まえ、**道路整備に伴う課題について、それぞれの区で継続的に検討をしていただく必要がある**と考えます。

今後、調査設計、工事を進めていくにあたり、**地元の皆さんの生活への配慮、また、道路を地域に活かして頂くことなどについて、区の見解をお聞きしながら進めていきたい**と考えています。



R6.4.9 区対策委員会連絡会議(県・市・関係区代表者)

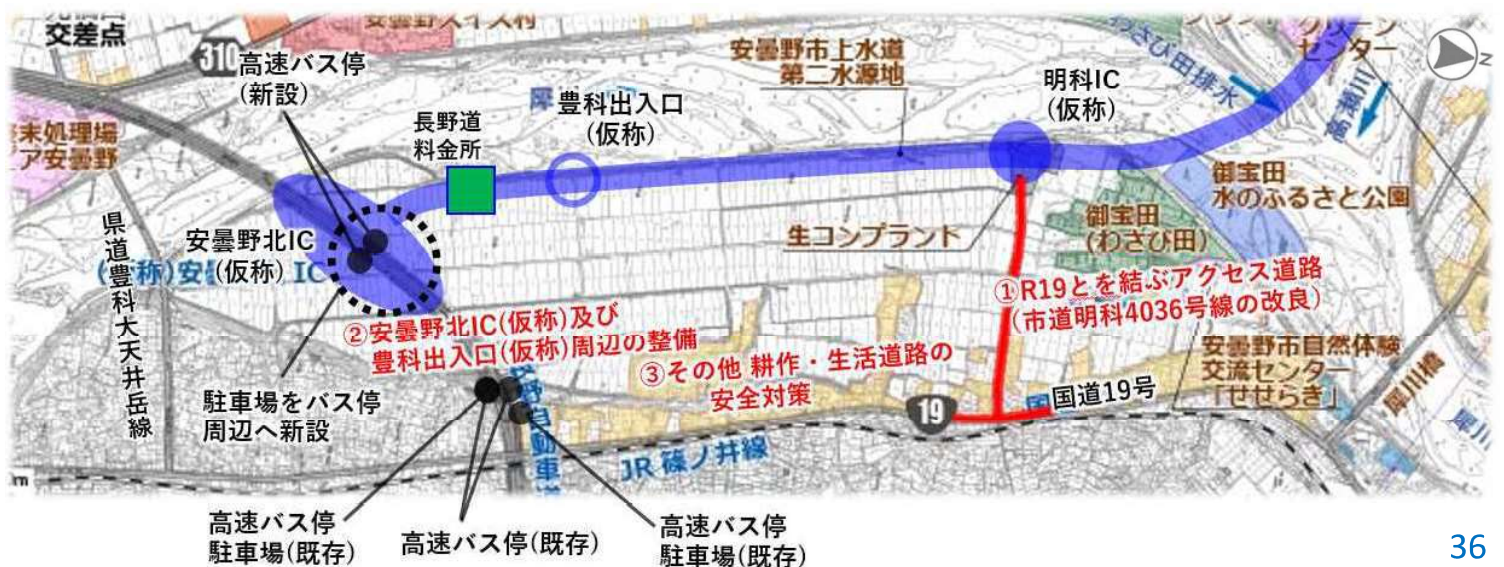
(Ⅱ) 関連市道整備 (ⅰ) 検討状況

※一部IC名等の“仮称”を省いています

35

関連市道整備の想定箇所

- ① 安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路整備
 - 市道明科4036号線を改良し整備
- ② 安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備
 - すれ違いがしにくい箇所や見通しが悪い箇所の対策
 - 高速バス停利用時の歩行者の安全対策
- ③ その他 耕作道路・生活道路の安全対策
 - ①②に含まれないものについて対策を検討



36

前回までの説明会等での主なご意見への対応方針

①安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路整備

- ☑ 設計方針(市道明科4036号線の活用等)に関する賛同意見。
 - ➡ アクセス道路は市道明科4036号線で考えていますが、要望や課題解決に向けてご意見をお聴きしながら進めていきます。
- ☑ アクセス道路の路線選定過程に疑問がある。
 - ➡ 整備方針をお示しし、説明会等でご意見をお聞きしながら地域との対話を重ねてきました。アクセス道路の整備効果を念頭に他路線も検討するなかで、明科地域へのアクセス性向上、現道活用や地形等を考慮し、市道明科4036号線が最適であることを説明してきました。
- ☑ アクセス道路の整備効果に疑問がある。
 - ➡ 物流がスムーズになり産業の発展や観光地へのアクセス向上のほか、地域間のつながりも強化され、地域全体の活性化に繋がると考えています。
- ☑ 市道明科4036号線の整備に関する要望
(国道交差点への信号機設置、車両等の転落防止、法面の維持管理負担軽減 など)
 - ➡ 信号機設置については、関係機関と協議を行っていきます。その他の要望についても設計段階で構造等を検討し関係する方へ計画案をお示しします。

37

前回までの説明会等での主なご意見への対応方針

②安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備

- ☑ 豊科出入口と幹線道路とをつなぐ道路整備は行うのか。
 - ➡ 豊科出入口は高速バス利用者や地元住民の利用を想定しているため、幹線道路までのすれ違いがしにくい箇所や、見通しが悪い箇所の対策として、部分的な改良や安全対策を予定しています。

③その他 耕作道路・生活道路の安全対策

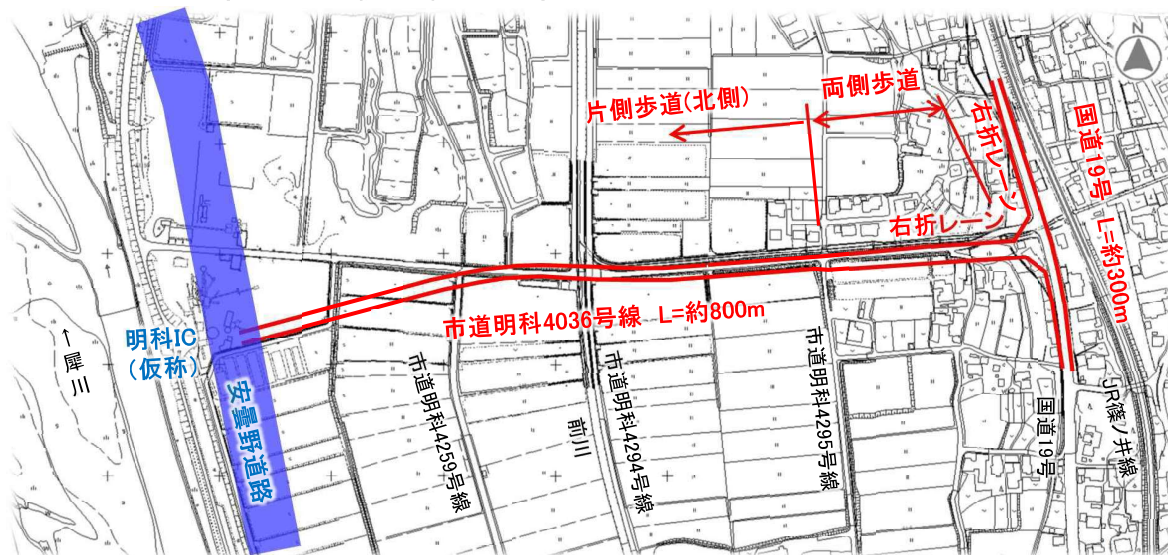
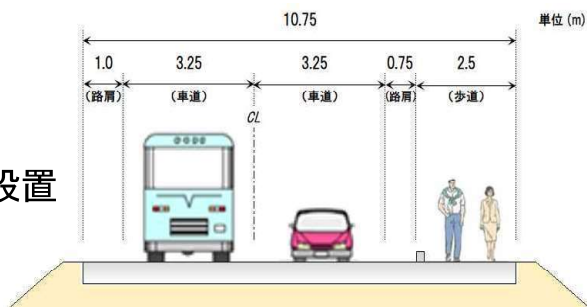
- ☑ 周辺道路への流入対策や安全対策等を実施してもらいたい。(農道・堤防管理用通路・市道豊科4034号線・前川沿い市道、通称仏坂ルート等)
 - ➡ 現状の把握のため、交通量調査を行いました。
このデータを基に対策を検討していきます。

38

①安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路整備

市道明科4036号線 設計方針

- 道路線形
現道を活用し拡幅
- 右折レーン
国道交差点部分の国道と市道明科4036号線に設置
- 歩道
住宅が隣接している箇所は両側、その他は片側
- その他
国道交差点部は信号機の設置を検討



計画をイメージしていただくため、参考にお示しするものです。詳細な位置や構造については、今後設計を行っていきます。39

②安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備

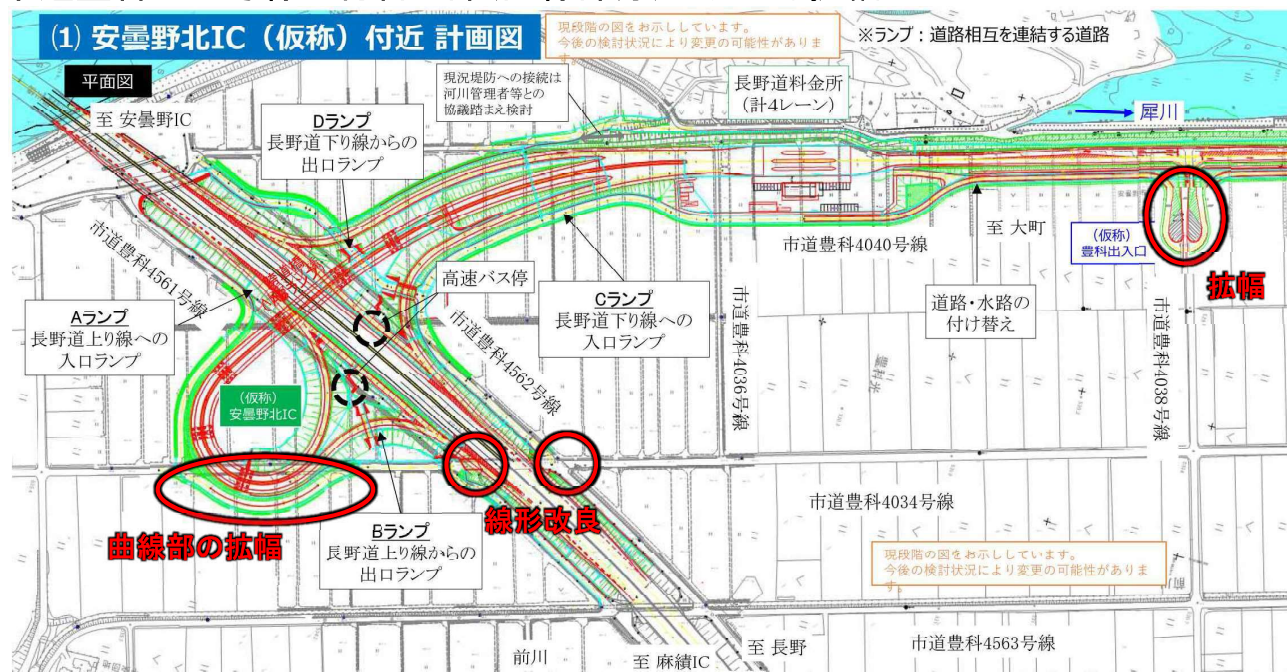
- すれ違いがしにくい箇所や見通しが悪い箇所の対策

【前回説明箇所】

- 豊科出入口の市道豊科4038号線接続部の整備
- 市道豊科4561・4562号線と市道豊科4034号線との交差点の線形改良

【追加整備箇所】

- 市道豊科4034号線の付替え部(曲線部分)における拡幅



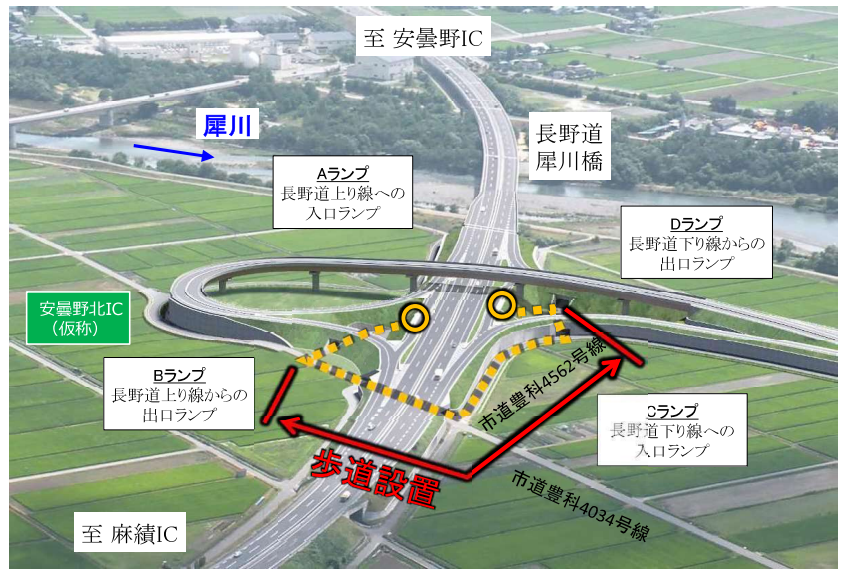
②安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備

●高速バス停利用時の歩行者の安全対策

市道豊科4034・4562号線の歩行者動線部分への歩道設置

駐車場の場所は歩行者動線の沿線を候補として検討(規模は既設同等)

- 高速バス停
- ■ ■ ■ ■ 歩行者動線



41

③その他 耕作道路・生活道路の安全対策

●交通量調査

調査日時: 令和6年3月7日(木) 7:00~9:00および17:00~19:00

(1)【朝】【北⇨南】



(2)【朝】 【北⇦南】 仏坂(通称)への流入63台/2h

その他地点は最大で30台程度/2h

(3)【夕方】【北⇨南】 仏坂(通称)からの流出68台/2h

その他地点は最大で40台程度/2h

(4)【夕方】【北⇦南】 仏坂(通称)への流入60台/2h

その他地点は最大で30台程度/2h

42

(ii) 今後の予定

①安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路整備

- 市道明科4036号線の改良設計を実施(影響する国道部分も含む)
- 現地での路線測量やボーリング調査を行う

②安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備

- すれ違いしにくい・見通しが悪い箇所対策として整備する箇所の詳細な検討
- 歩道設置部分の幅や構造など詳細な検討
- 高速バス停駐車場候補地の検討
- 説明会等で改良要望が出された箇所の検討

③その他 耕作道路・生活道路の安全対策

- 交通量調査結果や対策事例などを参考に意見交換を行っていく

□ それぞれの進捗状況に合わせて地域への説明を行っていきます

43

お問い合わせ先

○ 長野県 安曇野建設事務所 整備課 計画調査係

電話 0263-72-8308 (直通)

FAX 0263-72-8882

メール azumiken-matsuito@pref.nagano.lg.jp

○ 安曇野市役所 都市建設部 建設整備課

電話 0263-71-2330 (直通)

FAX 0263-72-3569

メール kensetsu@city.azumino.nagano.jp

県ウェブサイトにも松糸道路の情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。
<https://www.pref.nagano.lg.jp/azumiken/matsuito-doro.html>

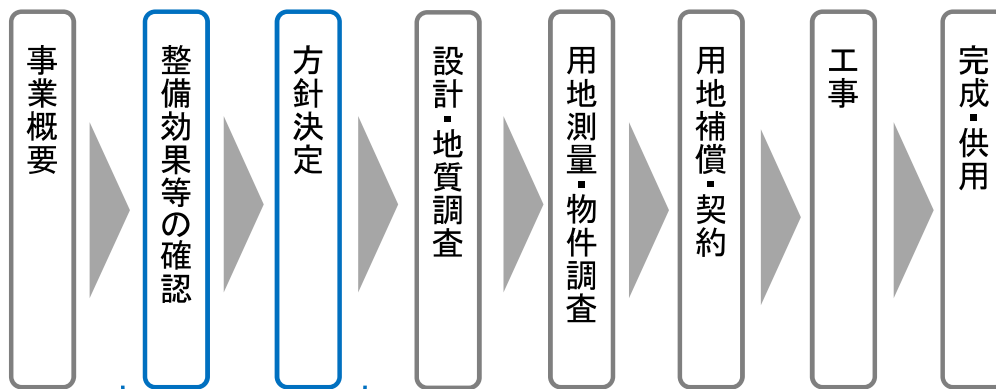
安曇野道路



44

アクセス道路の整備方針について

1. 事業の流れ



2. 宮中区に係る経過

R3.6 説明会	: 計画概要や幅員の説明など
R4.8 説明会	: 市道明科4036号線活用の提案、地形測量実施の予告など
R5.3 説明会	: 整備効果、路線選定理由の説明など
R5.11 説明会	: 設計方針(線形・右折レーン・歩道等)の説明など
R6.2 説明会	: ご意見への市の考え方の説明、整備への意見聴取など
R6.3 ご意見窓口	: 計画に関する資料提示、整備への意見聴取など

1

・「アクセス道路へのご意見窓口」の実施結果

【日時】 令和6年3月2日(土)～4日(月) 各日10時～16時

【場所】 中耕地公民館

【来場者数】 計12名

【アクセス道路への主な意見】

- 計画のとおり早期建設を願う
- 地権者等の反対がなければ市の計画どおり進めてよい
- これからの世代のことを考えればここにアクセス道路が必要
- 道路構造に係る要望
(国道との交差点に信号機を設置してほしい、法面管理負担を軽減する構造、
尻無沢も改修してほしい、沿道からの出入りを確保してほしい など)
- 松系道路から降りた車が農地に誘導されないような対策が必要
- アクセス道路には反対だがどうしても整備するなら、豊科出入口からも同等の規格で光橋まで接続、または松系道路を延伸し光橋へ接続が必要

2

3. これまでの説明会等での主なご意見への対応方針

- ① 設計方針(市道明科4036号線の活用等)に関する賛同意見。
➔ アクセス道路は市道明科4036号線で考えていますが、要望や課題解決に向けてご意見をお聴きしながら進めていきます。
- ② アクセス道路の路線選定過程に疑問がある。
➔ 整備方針をお示しし、説明会等でご意見をお聞きしながら地域との対話を重ねてきました。アクセス道路の整備効果を念頭に他路線も検討するなかで、明科地域へのアクセス性向上、現道活用や地形等を考慮し、市道明科4036号線が最適であることを説明してきました。
- ③ アクセス道路の整備効果に疑問がある。
➔ 物流がスムーズになり産業の発展や観光地へのアクセス向上のほか、地域間のつながりも強化され、地域全体の活性化に繋がると考えています。
- ④ 市道明科4036号線の整備に関する要望
(国道交差点への信号機設置、車両等の転落防止、法面の維持管理負担軽減 など)
➔ 信号機設置については、関係機関と協議を行っていきます。その他の要望についても設計段階で構造等を検討し関係する方へ計画案をお示しします。
- ⑤ 豊科出入口と幹線道路とをつなぐ道路整備は行うのか。
➔ 豊科出入口は高速バス利用者や地元住民の利用を想定しているため、幹線道路までのすれ違いがしにくい箇所や、見通しが悪い箇所の対策として、部分的な改良や安全対策を予定しています。
- ⑥ 周辺道路への流入対策や安全対策等を実施してもらいたい。
➔ 現状の把握のため、交通量調査を行いました。このデータを基に対策を検討していきます。

3

4. これまでの経過を踏まえた市の方針

この道路は地域にとって重要であり、
市としては、市道明科4036号線を改良し
松糸道路へのアクセス道路として整備したい

- 現時点では詳細な設計を行っていない。
- 要望等に対して具体的な回答を行っていくためにも設計(地質調査や測量も含む)を実施し、関係者へ設計案の説明を行いながら進めていく。

4

【参考】これまでの説明会での資料

R5.11説明会資料引用

関連市道整備の想定箇所

- ① 安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路整備
 - 市道明科4036号線を改良し整備
- ② 安曇野北IC及び豊科出入口周辺の整備
 - すれ違いがしにくい箇所や見通しが悪い箇所の対策
 - 高速バス停利用時の歩行者の安全対策
- ③ その他 耕作道路・生活道路の安全対策
 - ①②に含まれないものについて対策を検討



5

①安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路整備

R5.11説明会資料引用

アクセス道路の考え方

役割

松系道路の整備効果を、明科地域等の活性化に繋げる

<機能> 物流・人流の拠点(駅、工業団地、観光地等)と松系道路をつなぐ
地域から松系道路を使いやすくする

整備効果

- 松系道路へのアクセス性向上
- 救急医療施設への搬送時間短縮
- 物流・観光施設へのアクセス性向上 など

整備路線選定の主なポイント

- 現道を活用した拡幅による改良
- 明科ICと国道19号(幹線道路)を結ぶ路線(相互間のアクセス性)
- 沿線の建物や産業等への影響 など

6

市道明科4036号線を活用する理由

- 松糸道路の整備効果を、明科地域等の活性化に繋げるために、拠点となる駅周辺および明科地域の各地区から、短い距離でアクセスできること
- 現道を活用することにより、効率的に整備することが可能であること
 - ※ 現道の幅員が比較的広く、線形もほぼ直線
 - 拡幅が必要であるが、改良の規模をできるだけ小さくできる
 - 現道の課題(国道19号との出入り、車とのすれ違い、段差)の解決も図られる
- 大規模・代替困難な補償(工場、わさび田、養魚場)を伴わないこと

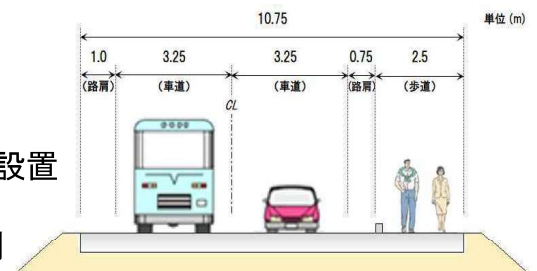


7

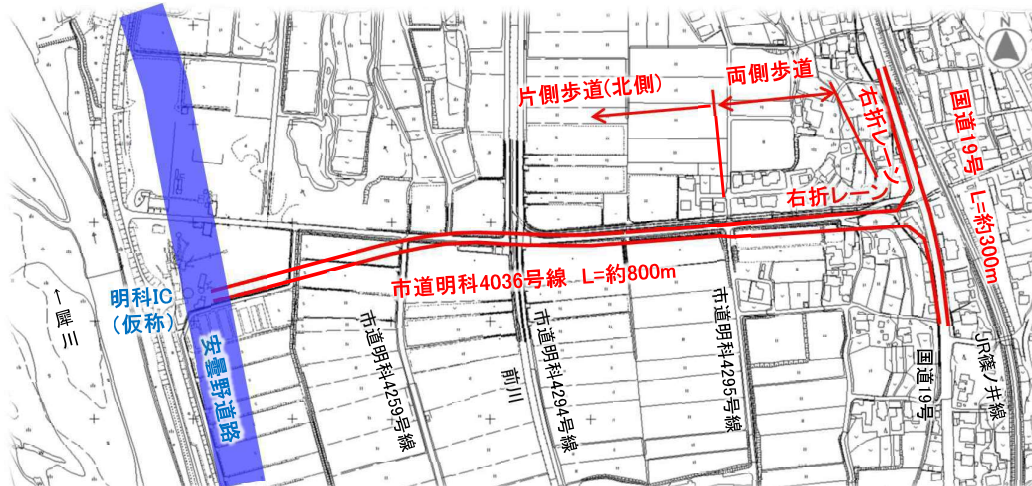
①安曇野道路と国道19号とを結ぶアクセス道路整備

市道明科4036号線 設計方針

- 道路線形
 - 現道を活用し拡幅
- 右折レーン
 - 国道交差点部分の国道と市道明科4036号線に設置
- 歩道
 - 住宅が隣接している箇所は両側、その他は片側
- その他
 - 国道交差点部は信号機の設置を検討



※ 歩道を片側のみに設置した場合



計画をイメージしていただくため、参考にお示しするものです。
詳細な位置や構造については、今後設計を行っていきます。

8